

農業をもっと身近に!

食材にこだわる飲食店や産直の野菜を販売するマルシェ、各種イベントを紹介します。
おいしい農産物との出会いの機会としてください。

産地にこだわる飲食店

東京野菜キッチンSCOP(東京都港区)

イタリアンをベースにした料理を提供する地産地消型のピストロ「東京野菜キッチンSCOP」は、東京産の野菜を食材としており、クラフトビール、ワインは東京産のものも扱っています。運営する(株)エマリコくにたちは、東京都の農家が生産した野菜を自社で集荷し販売や卸、飲食店での提供などを行っている会社です。



▶ 東京野菜キッチンSCOP
(東京農村)



「農業の魅力を発信する」をテーマにした複合ビル「東京農村」(港区赤坂)の1階にある。

写真提供 / (株)エマリコくにたち



新鮮な東京産野菜を使ったメニューが豊富。

写真提供 / (株)エマリコくにたち

都市農家が作った野菜を食べられる店

🌱「シズラー」(東京都千代田区)

サラダバーとグリルをメインとする「シズラー」は1958年に米国で創業し、現在5カ国で展開するレストランです。今年4月5日にオープンした「シズラー東京国際フォーラム店」の看板メニューは、プレミアムサラダバー。都内で新たに就農した若者たちの有志によるグループ「東京NEO-FARMERS!」が提供する野菜を用いています。



▶ シズラー
東京国際フォーラム店



新規就農者による「東京NEO-FARMERS!」が食材を提供している。
写真提供/ロイヤルホールディングス(株)



プレミアムサラダバーでは、新鮮な野菜やフルーツ、ドリンクなど70種類以上から自由選べる。
写真提供/ロイヤルホールディングス(株)



JR有楽町駅から徒歩すぐの文化施設、東京国際フォーラムに構える新店舗。
写真提供/ロイヤルホールディングス(株)

マルシェで新鮮な野菜を購入

マルシェ(marché)はフランス語で「市場」のことです。日本でも地域で採れた農作物などを持ち寄って販売することを「マルシェ」と呼ぶことが広まり、人気のイベントとして全国各地で行われるようになっていきます。

都市型マルシェも増えており、東京都なら青山や有楽町、丸の内、大阪府なら天王寺や心斎橋といった大都市でも週末などに開催されています。街歩きのついでに新鮮な野菜を購入してはいかがでしょうか。



国際連合大学正面広場で開催される「Farmer's Market@UNU」では多くの農家が出店。

農業祭に出かけてみよう

JAなどが主催する農業まつりが全国各地で開かれています。農産物の販売や農産物品評会に出品された農産物の展示、模擬店での軽食の販売、さらに歌謡ショーや抽選会などさまざまなイベントが行われることも。

地域の人々に愛され、長く続けられているまつりも。12月には、今年で43回目となる「にいほま農業まつり」(愛媛県新居浜市)が開催される予定です。



「助け合う心を大切に!!」をテーマに開催された昨年の「にいほま農業まつり」の農産物の直売。農産物品評会や和太鼓演奏、スタンプラリーなどのイベントも行われた。
写真提供／新居浜市農業協同組合

「世界都市農業サミット」開催

東京都練馬区

2019年11月29日～12月1日

東京23区内の農地の約4割を占めるのが練馬区です。採れたての野菜を味わえ、近所で果実の摘み取りもできる。そんな「農」のある暮らしのできる練馬の都市農業の魅力と可能性を世界に発信し、あわせて世界の人々との交流を通して都市農業を発展させていくため、今年11月29日から12月1日に練馬区で「世界都市農業サミット」が開催されます。

都市農業について積極的な取り組みを行っているニューヨーク、ロンドン、ジャカルタ、ソウル、トロントの5都市から農業者や研究者、行政担当者を招き、国際会議を行います。また、伝統野菜の練馬大根引っこ抜き競技大会も見どころ。他に「ねりマルシェ」では、採れたての練馬産農産物やそれらを用いた料理の他、サミット参加国の食べ物も販売されます。



▶ 世界都市農業サミット
(練馬区)



昨年のイベントの際、区内の農地で行った練馬大根の収穫体験。
写真提供／練馬区



英ロンドン、リージェンツ・パーク内の市民農園。
写真提供／練馬区